

TK-1660A/AVとTK-1230Bとの違い説明書

■ 1 概要

◇できるだけ互換性を維持するように努めていますが、機能の追加変更に伴い、多くの追加変更箇所があります。

■ 2 追加箇所

- ◇発信電話番号受信機能（ナンバーディスプレイ）に対応し、識別自動着信が可能です。
- ◇併設電話機のオフフックによるグループ通報が可能で、相手先応答検知後、そのまま併設電話機から通話できます。（設定により可能）
- ◇DTMF ミュート機能を内蔵し、DTMF 検出中、受話出力を無音にできます。（設定によりミュート可能）
- ◇呼出信号（リング）と話中音（ビジートーン）にメーク率と周期判定を行ない、誤動作を軽減しています。
- ◇4回路のディップスイッチを追加し、ダイヤル方法や自動着信の有無を設定できます。（シリアルインターフェース制御では無効）
- ◇V. 23 モデム機能を追加しています。（一般的なモデムとの通信はできません）
- ◇オプションでUSB（仮想シリアル）インターフェースユニット（UT-5200D）が搭載可能です。

■ 3 変更箇所

- ◇回線から送受話入出力にコーデックが入り、16ビット8k s p s のデジタル処理に変更しています。
- ◇オプションのエコーキャンセル機能を標準で内蔵しています。（VP-1のエコーキャンセル機能相当）
- ◇オプションの併設電話機インターフェースを標準で内蔵しています。（VI-1相当）
- ◇USBを選択できるように、RS-232Cシリアルインターフェースユニット（RS-232C9PD）をオプションに変更しています。
- ◇旧携帯インターフェースを外し、オプションのBluetoothユニット（BT-5200D）により、対応携帯を経由して通話可能にしています。
- ◇（AVのみ）8MBのフラッシュメモリーを搭載し、音声録音・再生時間を合計約8分に延長しています。（VP-1の音声録音再生機能相当）
- ◇制御入出力（CN3）の終端抵抗をプルアップからプルダウンに変更しています。
- ◇V. 23 モデム機能等、機能の拡充に伴い、シリアルインターフェースコマンドの一部とDTMF コマンド全てを変更しています。
- ◇自動着信時、暗証番号入力モードにならないように変更しています。（設定により変更可能）

■ 4 変更ATコマンド

◇ATX

本製品は、発信音・ビジー音は常に確認します。

発信音が確認できない場合、設定秒数経過（デフォルト3秒）後、ダイヤルします。

本コマンドは、リザルトコードの書式を指定するコマンドに変更しています。

デフォルトは3ですが、2にすると、TK-1230B相当のリザルトコードになります。

デフォルトは、切断理由によってリザルトコードを変えますので、意図しない切断が発生した原因がわかりやすくなります。

◇ATS10

本コマンドは、「ATS29」に変更しています。

「ATS10」は、モデム機能用で、キャリア紛失による不接続時間設定に変更しています。

◇AT&P

本コマンドは、設定する値を変更しています。

◇AT&S

本コマンドは、「AT!VS」に変更しています。

「AT&S」は、モデム機能用で、DSR（送信データあり出力）の制御方法設定に変更しています。

◇AT#VLS

本コマンドは、設定する値を変更しています。

切り替える組み合わせを増やしています。

◇AT#VTS

本コマンドは、設定する値を変更しています。

発生できる信号の種類を増やしています。

◇AT#SPK

本コマンドは、設定する値を変更しています。

ゲインのステップが細かくなっています。

■5 変更シリアルインターフェースコマンド

◇ANIN

本コマンドは、「ATI19」に変更しています。

参照値は16進数から電圧（10進数）に変更しています。

本コマンドは無効です。

◇AN

本コマンドは、「AT!SL」と「AT!SH」に変更しています。

「AT!SL」が下限設定、「AT!SH」が上限設定です。

設定値は16進数から電圧（10進数）に変更しています。

本コマンドは無効です。

◇POLARITY

本コマンドは、「AT!P」に変更しています。

設定値は16進数から10進数に変更しています。

本コマンドは無効です。

◇TM

本コマンドは、「AT!I」に変更しています。

時間単位は0.1秒から0.01秒に、範囲は255から65535に変更しています。

本コマンドは無効です。

◇RESET

本コマンドは、「ATR」に変更しています。

本コマンドは無効です。

◇MODE

本製品は、別の方法で制御入出力（CN3）の用途や通報制御を設定します。

制御入出力（CN3）をマトリックス入力に変更する場合、「AT!VF=4」を設定します。

本コマンドは無効です。

◇TELSET

本製品は、別の方法でDTMF制御の有無を選択します。

自動着信時、DTMFコマンドによる設定を行う場合、「AT!B1」を設定します。

本コマンドは無効です。

◇XMODEM

本製品は、XMODEMプロトコルに対応していません。

本コマンドは無効です。

◇FFT

本製品は、「AT#VTX」中でも、コールプログレストーンやDTMFの検出を行います。

本コマンドは無効です。

◇BCF/BSF

本コマンドは、「AT!W」に変更しています。

例外を除き、本コマンドは無効です。

例外1) bcf 0f8d, 0

例外2) bcf 0f8c, 6

※例外は、機能を向上した設定コマンド「AT#VLT」を用意しています。

PATOK

松本無線パーツ株式会社岩国

〒740-0018

山口県岩国市麻里布町4-14-24

TEL(0827)24-0081(代)

FAX(0827)24-1444